

放射性物質拡散に関する対応について

松戸市私立幼稚園連合会
会長 鈴木 悦朗

千葉県東葛地域は、放射線量が周辺より高く、ホットスポットと言われて新聞、週刊誌、ネット等で有名になってしまいました。多くの方々が心配をし、幼稚園等に通園する特に小さなお子さんをお持ちの方々のご心配は、人ごとではありません。松戸市私立幼稚園連合会でも、どんな基準値だと安全かという議論を待つのではなく、少しでも安心して幼稚園に通園できるように努力しています。

- 4月18日 松戸市役所に、千葉県の放射線量測定の公式モニタリングポストが市原市にしかないことを踏まえ、今後増えるであろう市民、特に乳幼児の保護者の不安に対応するため、松戸市に対して千葉県や国に放射線量の測定を要請、あるいは無理であれば、市独自に測定することを要請。
- 5月10日 ホットスポット問題が有名になり、特にお隣の柏市で騒がれる。
5月20日 松戸市役所にすでに発注していた線量計が届き、5月23日より、携帯用簡易測定器において市内における放射線量の測定を開始。
- 6月 8日 設置者・園長定例会で放射線問題で屋外の手洗い・うがいなど最低の遵守事項を確認。松戸市にも測定ならびに、高い場合であれば表土入れ替え、除染等の措置を要請。
- 6月15日 市内の幼稚園の放射線量を測定・HPにて公表
~27日
5月中旬から夏休みにかけて、設置者・園長の判断で、この間、それぞれの幼稚園で表土入れ替え、高圧洗浄機による除染等放射線低減のための試行がなされる。表土を削ることでかなり放射線量が低減されることが実証される。
- 8月30日 松戸市より放射線測定および除染に関する補助金として各園20万円の支給額が内示される。
- 9月14日 設置者・園長会において放射線低減のための取り組みがなされていなかったことから、すべての幼稚園で線量計を購入し、測定し、目安とする数値を0.3 μ Sv/hとし、それより放射線量が低い園でも、少しでも低減させるために努力をすることを確認いたしました。